

本校の沿革

令和4年5月現在

明治8年10月23日、呉服2丁目日本覚寺跡地を買収し、西唐（西唐人町）西阿（西阿弥陀寺町）の両校を合併して公立五福小学校を創立した。

明治10年2月、西南の役により校舎全焼にあったが、1月には再建、以来児童数の増加により増改築をかさね、昭和5年11月、本館鉄筋3階建て校舎が落成。

その後児童数が増加の一途をたどり、昭和34年5月に9教室を増改築した(昭和34年児童数1094名)。

しかし、時代の流れとともに児童数が減少し、平成3年には公民館等を備えた地域開発センターとの複合施設の学校としてスタート。平成5年度には室内温水プールと体育館が完成した。その間、いくたびも各種の競技会やコンクールに優勝、健康優良校としても数回全国表彰を受けている。また、県及び市教育委員会及び文部省(現文部科学省)による研究委嘱校として教育の成果をあげてきた。

(沿革の概要)

明治	8年10月	五福小学校創立
大正	11年2月	五福後援会結成(校友会)
昭和	5年11月	鉄筋校舎落成(21教室)
	9年11月	九州学童オリンピック連続9回優勝
	23年1月	県学校給食優良校
		9月 五福校PTA結成
	26年10月	五福校同窓会発足
	32年8月	プール完成
	34年5月	鉄筋校舎落成(9教室)
	36年9月	学校給食文部大臣表彰
	37年4月	科学技術長官賞
	38年10月	全国図工研究大会公開授業
		11月 五福子供オリンピック発足
	41年11月	県健康優良校(7年連続)
	42年11月	日本一健康優良校受賞
	43年10月	日本一優良校全国発表会
		11月 第14回学研教育賞受賞
	45年1月	全国交通安全優良校受賞
	46年10月	毎同音楽コンクール第1位
	47年4月	情緒障害学級開設
	47年7月	NHK合唱コンクール6年連続入選
	48年7月	五福文庫開設
		11月 全国道徳研究大会会場校
	49年6月	自転車大会5年連続優勝
	50年6月	五福校区体育協会発足
		8月 運動場防球ネット完成
		10月 創立百周年記念式典
		10月 よい歯の学校12年連続表彰

- 51年 6月 動物スケッチ大会熊日
- 12月 俳句大会学校賞2年連続受賞
- 52年 1月 熊日学童スケッチ優秀校賞
- 3月 学研理科奨励賞受賞
- 4月 文部省・県・市研究指定校
- 8月 百周年記念誌完成
- 53年 6月 講堂解体
- 54年 2月 体育館落成2月文部省・県・市研究発表会
- 55年 10月 学研(図工部門)学校奨励賞
- 12月 熊日ジュニア科学賞入賞 熊日合唱コンクール入賞
- 56年 10月 五福学級開設10周年
- 12月 機械警備開始
- 57年 3月 青少年健全育成協議会発足
- 60年 3月 研究論文準特選(市教委)
- 61年 3月 研究論文特選(市教委)
- 62年 3月 研究論文準特選(市教委・県教委)
- 63年 4月 熊本県マイタッチモデル校委嘱
- 6月 熊本市教育委員会委嘱研究発表会
- 平成元年 1月 研究紀要第7集発行 教育論文特選(市)
- 8月 校舎解体始まる。プレハブ特別教室設置(9教室)
- 9月 健康優良学校全国優秀校候補実地審査
- 11月 健康優良学校優秀校受賞 全日本よい歯の学校県表彰
- 12月 「五福教育」冊子完成
- 2年 1月 五福小学校建設起工式
- 3月 プレハブ普通教室設置(2教室)
- 9月 交通安全優良学校優秀校受賞
- 10月 熊本市教育委員会委嘱研究発表会
- 11月 全国健康優良学校中央表彰(県代表)
- 3年 1月 熊日学童スケッチ展優秀学校賞受賞 交通安全優良学校全国表彰(県代表)
- 3月 新校舎落成(オープンスペース2, 14教室), 入校式
- 3年 4月 文部省研究指定(コンピュータに関する研究)
- 6月 ふれあい活動開始(第1回は運動会)
- 4年 1月 熊日学童スケッチ展優秀学校賞受賞
- 2月 個人学習診断テスト実験校指定
- 4月 平成4・5年度文部省研究指定校(機器利用)
学校週5日制モデル校委嘱
- 11月 文部省指定コンピュータの利用研究発表会
- 5年 9月 体育館・室内プール落成
- 11月 研究発表会(地域とのふれあいを通して)

- 6年 3月 研究論文準特選(市教委)
- 9月 サンアントニオ市より来校
- 11月 ハイデルベルク市より来校
- 7年 7月 大韓民国全羅南道より来校
- 10月 創立120周年記念式典
- 8年10月 器楽コンクール銀賞受賞
- 9年 5月 ハイデルベルク市より来校
- 5月 サウジアラビアとの交流会
- 6月 大韓民国全勝南道より来校
- 10年12月 ペルー楽団演奏会
- 11年 8月 インターネット用配線工事
- 10月 器楽合奏コンクール銀賞受賞
- 11月 熊日合唱コンクール優秀賞受賞
- 12年 3月 研究論文準特選(市教委)
- 10月 器楽合奏コンクール銅賞受賞
- 11月 熊日合唱コンクール優良賞受賞
- 13年10月 ハイデルベルグ市より視察
- 14年 1月 熊本県モア・タッチ作品コンクール優秀賞
- 14年 2月 研究発表会(文部科学省指定)
- 3月 研究論文準特選(市教委)
- 10月 テレビ会議(上益城郡矢部町立御所小学校との交流)
- 11月 ハイデルベルク市より視察
- 15年 3月 研究論文準特選(市教委)
- 16年 2月 県ITコンテストマルチメディア部門最優秀賞・ホームページ部門優秀賞
- 10月 研究発表会(文部科学省指定学力向上フロンティアスクール・市教委委嘱)
- 17年 2月 県ITコンテストマルチメディア部門最優秀賞・ホームページ部門入選
- 10月 創立130周年記念式典
- 12月 熊鞍(くまくら)文庫設置
- 18年 4月 児童数244名(男子125名、女子119名)(5/1現在)
- 4月 LD・ADHD教室設置
- 6月 スクールガードリーダー1名配置
防犯パトロール隊発足(PTA愛護委員会)
- 10月 市教育委員会委嘱研究発表 教育工学全国大会会場校
- 19年 2月 熊本ITコンテスト優秀賞受賞
- 3月 マイタウンマップコンクールわかば賞受賞
- 4月 児童数242名(128名、114名)(5/1現在)
- 10月 韓国三千浦小学校来校
- 20年 2月 くまもとITコンテスト2年優秀賞
- 3月 マイタウンマップコンクール 4年 国土交通大臣賞
- 4月 児童数250名(138名、112名)(5/1現在)

- 21年 4月 児童数259名(138名、121名)(5/1現在)
- 22年 2月 くまもとITコンテスト6年優秀賞
算数科自主研究発表会 講師：文部科学省 笠井健一調査官来校
- 4月 児童数257名(138名、119名)(5/1現在)
- 23年 2月 自主研究発表会 講師：京都女子大学 井上一郎教授来校
- 4月 児童数272名(138名、134名)(5/1現在)
- 10月 市教育委員会委嘱研究発表
- 24年 4月 児童数272名(141名、131名)(5/1現在)
- 25年 2月 全国健康教育推進学校表彰
- 2月 熊本県小学校国語研究大会会場校
- 4月 児童数263名(127名、136名)(5/1現在)
- 26年 2月 自主研究発表会 講師：放送大学 中川一史教授来校
- 2月 全国健康教育推進学校表彰
- 4月 児童数251名(112名、139名)(5/1現在)
- 27年 1月 自主研究発表会 講師：白鷗大学 赤堀侃司教授来校
- 4月 児童数242名(108名、134名)(5/1現在)
- 10月 140周年記念式典・記念コンサート・学習発表会
- 28年 1月 自主研修発表会 講師：関西大学 黒上晴夫教授来校
- 29年 1月 自主研究発表会 講師：慶応義塾大学 鹿毛雅治教授来校
- 4月 児童数250名(118名、132名)(5/1現在)
- 30年 2月 自主研究発表会 講師：慶応義塾大学 鹿毛雅治教授来校
熊本市議会 ドイツ・ハイデルブルク市訪問団歓迎式典議場コンサート
- 4月 児童数259名(114名、145名)(5/1現在)
普通教室(10室)エアコン設置
- 10月 電子黒板(全教室)タブレット端末導入(職員用20台 児童用74台)
- 31年 2月 自主研究発表会 講師：市教育委員会人権指導室 中野二則指導主事来校
- 4月 児童数255名(124名、131名)(5/1現在)
- 令和元年 5月 器楽部が地域バンド「五福風流街ウィンズ」として発足
- 2年 2月 自主研究発表会 講師：熊本大学教育学部 前田康裕准教授 来校
- 4月 児童数264名(125名、139名)(5/1現在)
- 4月～5月
新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校
- 12月 全児童にタブレット端末導入
- 3年 4月 児童数253名(120名、133名)(5/1現在)
熊本市教育委員会指定 研究モデル校 タブレット端末活用(STEAM教育)
- 4年 4月 児童数262名(127名、135名)(5/1現在)
熊本市教育委員会指定 研究モデル校 STEAM教育